

# 西光寺だより

第一一〇号 令和元年十一月一日発行

紅葉の美しい十一月となりました。だんだんと寒さに近づく季節を迎えます。

先月の十月。皆さんもご存じの通り、超大型台風19号は、強い勢力を保ったまま関東甲信越や東北の広範囲を襲いました。12日には記録的な大雨が降り、その被害は東日本の広範囲にわたり、多くの方々が被害に遭われました。

堤防の決壊は52河川73か所、水が堤防を乗り越える超水はのべ231河川にのぼり、同時多発的に氾濫が起きる異常な事態となりました。

決して他人事ではなく、この西光寺におきましても安威川の堤防下にある以上考えなければいけないことでもあります。

さまざまないのちを守る行動はもちろん、皆様が先祖代々、何百年も大切に守ってこられ、そして見守っていたいて西光寺の阿弥陀如来。もしもの時にはすぐに運べるよう予行練習を行いながら、自然と向き合う準備を心がけなければと痛感致しております。

またハザードマップの存在をいかし、自分自身を守る行動を、自分ごととして受け止めることを学ぶこととなりました。

この度の災害で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げ、改めて自然との向き合い方を考えることでもあります。

## ●今月のことば●

『おかげさま』

最近いろいろな形でのご縁が多くなっています。その中でよく聞くお言葉、『おかげさま』。語源由来辞典によると、他人から受ける利益や恩恵を意味する「お陰」に「様」をつけ、丁寧にした言葉。古くから「陰」は神仏の偉大なものの陰で、「死んだ人の姿や肖像」を意味することにも通じるものであります。日々の中で『おかげさま』を感じることもできる一つの詩をご紹介させていただきます。

夏が来ると「冬がいい」と言う

冬が来ると「夏がいい」と言う

太ると「痩せたい」と言い

痩せると「太りたい」と言う

忙しいと「暇になりたい」と言い

暇になると「忙しい方がいい」と言う

自分に都合のいい人は「善い人だ」と言い

自分に都合が悪くなると「悪い人だ」と言う

借りた傘も 雨が上がれば邪魔になる

金を持ってば 古びた女房が邪魔になる

所帯を持ってば 親さえも邪魔になる

衣食住は昔に比べりや天国だが

上を見て不平不満の明け暮れ

隣を見て愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのか

静かに考えてみるがよい

一体自分とは何なのか

親のおかげ

先生のおかげ

世間様のおかげの固まりが自分ではないか

つまらぬ自我妄執を捨てて

得手勝手を慎んだら

世の中はきつと明るくなるだろう

《名言集より。詩人、上所重助の「おかげさま」》

私たちはそれぞれ繋がっています。自分が、自分がではなく、自分の後ろをふりかえるとさまざまな人が力を貸してくれたり、味方になってくれる人がいます。誰しも必ずです。

またご先祖の方々、力を貸してくれた、助けてくれた、導いてくれたと感じた時には見えないご活動に対しておかげさまの感謝の言葉が生まれるものです。私たちは今生きています。目に見える感謝と目に見えない感謝、どちらもあるからこそ『おかげさま』。自分の味方になってくれる存在を多く感じられるほど、『おかげさま』の感謝が大きくなる。

そんな『おかげさま』の心で生きていくと何より自分が穏やかな毎日を送れることでしょう。そして『おかげさま』と感ぜられるから『ありがとう』が生まれ、人は誰かの力になりたいと思うことができるのではないのでしょうか。目に見える感謝は、ありがたいという言葉で。目に見えない感謝は、ありがたいの合掌で。南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

### ◆《浄土真宗三択クイズ・5》

浄土真宗をひらかれた親鸞聖人の諡号（しごう）は、見真大師。

では本願寺第8代蓮如上人の諡号は何というでしょうか？

※諡号・高徳の方に没後、生前の行いをほめたたえ贈る名。

h, 慧燈大師

i, 善導大師

j, 伝教大師

### ◆《浄土真宗三択クイズ・6》

今月の西光寺での行事、報恩講法要。

その時に本堂に張られてある幕の色は

何色でしょうか？

t, 4色

u, 5色

v, 6色

## ◆十一月・十二月の行事◆

・十一月 二十三日（土）

報恩講法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話 明光寺住職 加藤 龍行 師

・十二月 九日（月） 十日（火）

茨木東組念仏奉仕団

京都西本願寺

・十二月 三十一日（火）

除夜の鐘

午後十一時五〇分頃より

西光寺鐘楼

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>